

子どもの発案によるあそび

(3)

——三歳児——

田 中 都 慎 子



ま と め

今まで二回にわたってあそびの発展について述べてきたが、ここではあそびの経過と動機についてまとめてみたいと思う。

あそびの経過

一年間のあそびの経過をまとめてみると表1の通りである。

主なあそびの経過状態についてあげたが、長く続いたものは、
汽車ごっこ、競争自動車あそび、ウルトラセブンごっこ、ピスト
ルづくり、めがねづくり、時計づくり、望遠鏡づくり、風車づくり、
高速道路づくりなどである。

あそびの動機

動機と考えられるものには、次の五つがあるようだ。

- (5) 動機と考へられるものには、次の五つがあるようだ。
例：優勝欲づくり、電話づくりなど。
- (4) 材料のもつ形
例：優勝欲づくり、電話づくりなど。
- (3) テレビからの影響
例：テレビを見てまねしたあそび。
- (2) 年長組からの影響
年長組のするのをみて思いついたもの。
- (1) 生活体験
自分の経験から思いついたもの。
例：エプロン、高速道路づくりなど。

<表1>

	一 学 期	二 学 期	三 学 期
椅 子	汽車あそび 競争自動車あそび 消防自動車, 白バイ・パトロールごっこ	→汽車ごっこ・食堂車・ 救急車ごっこ	→レストランごっこ
ブロック	ピストルづくり ボーリングあそび おまわりさんごっこ	→ウルトラセブンごっこ	→ウルトラ警備隊ごっこ
積み木	楽器あそび 高速道路づくり ゆうれい船→お化け屋 敷→写真機	→高速道路づくり 宇宙船ごっこ	→高速道路づくり →飛行機づくり
砂 場	ガソリンスタンド 山, 川, 池づくり	→山, 川, 池づくり	→山, 川, 池づくり
粘 土	ごちそうをつくる	どんぐり山つくり →動物, 人の顔をつくる	長いへびをつくる
製 作	めがね, 旗づくり 自動車づくり 時計づくり 首かざり, 優勝盃づくり 切符づくり かたつむりをつくる 楽器をつくる お面をつくる 望遠鏡づくり 風車づくり 電話をつくる	→時計づくり →切符づくり →とんがり帽子, サンタ クロースのひげ, 袋を つくる →望遠鏡づくり →風車づくり →ペーブサート ケーブルカー ケムシづくり→びっくり 箱 ロケットづくり エプロンづくり カメラづくり キリン, シマウマの製作(共同)	→切符づくり →望遠鏡づくり →風車づくり →てさげ, エプロン 共同製作「冬ごもり」 おりがみ

時期的なもの。

社会的行事、園の行事などを含むものなど。

さらに、創造性を生み出す要素として、動機、注意の集中、広い経験と活動が考えられる。

あとがき

幼児のもつ探求心は常に旺盛であるべきである。何事にも興味をもち、驚く心をもつ人間に育てたいものだ。そこからは、すばらしい可能性が生まれされることだろう。

(b) 注意の集中

熱中してこつこつと自分のつくりたいものを工夫し、考えるこど。物事に注意を集中できるという態度は、幼児の時の生活態度が影響するように思われる。幼児を落ちついたふんい気の中で育てるということは、この忙しいせかせかした今日では、貴重なことのように思う。

(c) 広い経験と活動

かたよらない幅広い経験と活動をより多くもてるよう心がけ

たいと思う。安定したふんい気の中で、しかものびのびと活動できるようにしたいものである。子どもたちは、自分たちが見たり聞いたりしたこと驚くべき力で吸収してしまう。現代では、すぐ耳に入り眼に入るテレビに生活が動かされているようだ。おと

ぎ話の世界にのんびりひたることなく、テレビの前で過ごすことの多い幼児期を過ごすのは、あまりに惜しい気がする。

保育者というものは、客観的に自分のクラスの状態をながめることは難かしいものである。時には、記録をとったり、いつも主観的になりがちな見方をまたちがった角度からながめることも大切なように思う。

子どもたちが考え出したあそびが、長く続いたことは、私にとって大変興味のあることだった。時々同じあそびが、なんの変化もなく続くようにみえて、もっと助言や指導が必要であったのではないかとあせることがあった。しかし、自由に満足して遊んでいるようすを見たり、少しずつでもあそびが発展しているのを見る時、自分たちであそびをつくりあげていく楽しさを味わうことの大変なことなのではないだろうかと考え、助言などをひかえた

りした。

ぶつかりあいながらも友だちをつくり、くふうし、あそびをつくり出していく過程が大切なのではないだろうか。私たちは、子どもが自分を十分に發揮して物事に対処できるように助力してやらなければならない。